

【8】水泳の授業およびプールの維持・管理について

調査項目

1. 水泳の授業は行っていますか？  
 ①学校のプールで行っている ②学外のプールで行っている ③行っていない

1-1. 1.で「行っている場合」、1シーズンのプール実施時間は1クラス平均何時間ですか？  
 2時間以下 3時間 4時間 5時間 6時間 7時間以上

1-2. 学校にプールはありますか  
 ① ある ②ない

1-3. 1.で水泳の授業を行っており、1-2でプールがある場合、プール掃除はどうしていますか  
 ①プール内、プールサイドともに、教員のみで実施 ②プール内、プールサイドともに、教員と保護者で実施  
 ③プール内の掃除のみ外部委託、プールサイド掃除は教員で実施 ④プール内の掃除のみ外部委託、プールサイドは教員・保護者が実施 ⑤プール内、プールサイドともに、外部委託

1-4. プールの維持、管理、水泳の授業について課題はありますか。

【概要】

1. 水泳の授業は行っていますか？

	全体	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
①学校のプールで行っている	167	37	50	43	5	3	24	5
②学外のプールで行っている	26	1	7	6	0	2	8	2
③行っていない	29	10	0	8	6	0	3	2
合計	222	48	57	57	11	5	35	9

1-1. 1.で「行っている場合」、1シーズンのプール実施時1クラス平均何時間ですか？

	全体	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
2時間以下	18	6	3	2	0	2	3	2
3時間	10	2	3	1	0	0	4	0
4時間	16	4	3	5	0	0	4	0
5時間	19	4	4	4	2	1	4	0
6時間	32	3	2	17	1	2	5	2
7時間以上	93	19	39	20	2	0	10	3
合計	188	38	54	49	5	5	30	7

1-2. 学校にプールはありますか

	全体	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
①ある	183	35	54	48	8	3	30	5
②ない	39	13	3	9	3	2	5	4
設置率	82.4%	72.9%	94.7%	84.2%	72.7%	60.0%	85.7%	55.6%
合計	222	48	57	57	11	5	35	9

1-3. 1. で水泳の授業を行っており、1-2でプールがある場合、プール掃除はどうしていますか

	全体	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育	特別支援	義務教育
①プール内、プールサイドともに、教員のみで実施	63	20	15	15	1	0	12	0
②プール内、プールサイドともに、教員と保護者で実施	8	3	2	2	0	0	1	0
③プール内の掃除のみ外部委託、プールサイド掃除は教員で実施	14	1	7	4	1	1	0	0
④プール内の掃除のみ外部委託、プールサイドは教員・保護者が実施	5	0	3	2	0	0	0	0
⑤プール内、プールサイドともに、外部委託	20	2	6	9	1	0	2	0
その他	67	9	21	15	3	2	12	5
合計	177	35	54	47	6	3	27	5

本調査から、水泳の授業は多くの学校で実施されているものの、

- ・ 施設の老朽化
- ・ 維持管理・安全確保に伴う負担
- ・ 気候変動による実施条件の変化

といった要因により、継続や在り方の見直しを迫られている現状が明らかとなった。

今後は、各学校の実情に応じて、

- ・ 自校プールの活用
- ・ 学外施設の利用
- ・ 指導・管理体制の工夫

などを組み合わせながら、安全性と教育的意義を両立した水泳学習の在り方を検討していく必要がある。

#### 【幼稚園】

シーズン前に一度、保護者の奉仕作業でプールの大掃除をするが、シーズン中は全て教員が行う。

ビニールプールを使用 掃除等は教員

プール内、プールサイドともに、教員と保護者と学生ボランティア

プール内、プールサイド共に、教員、事務室の大学職員、小学校6年生とで実施

プール内の掃除は教員、プールサイドは用務員と教員

夏場のみ設置する組み立てプールです。プール内外とも教員のみで実施です。

簡易プールなので、教員で行っている。

教員と児童

小学校との共同プールは、手伝える時に参加、幼稚園の簡易プールは毎日水をかえている

#### 【小】

プールとして活用していない(ピオトープとして活用)ため、掃除はしていない。

プールはあるが稼働していない。

プール内・プールサイドともに、教員と児童で実施している。

プール内、プールサイドともに教員、児童、ボランティアで実施

プール内、プールサイドともに、教員、保護者、子どもで実施  
プール内、プールサイドともに、教員と教育実習生、児童で実施  
プール内、プールサイドともに教員と児童、学園事務員で実施  
プール内、プールサイド共に、教員と高学年児童で実施  
プール内の掃除のみ外部委託、プールサイド掃除は教員と児童で実施  
プール内の掃除のみ外部委託、プールサイドは教員・保護者が実施  
教員が下準備、児童と共に清掃を行い、教員が仕上げる  
教員と実習生で実施している。  
子供と教員、教育実習生でプール清掃を行い、日常は教員がプールサイドを掃除する。  
水を常時抜いており、掃除は用務員が年に数回実施。  
清掃は行っていない

#### 【中】

シーズン前のプール内清掃は、生徒と教員で実施。プールサイドについては用務員が実施。  
プールはあるが、老朽化しているため、市民プールと大学のものを使用している。  
プール内、プールサイドともに、教員と体育委員生徒で実施  
プール内、プールサイドともに、教員と生徒で実施  
学校プールの老朽化により使用できなくなったので、学外のプールで水泳の授業を行っている。  
主に教員が清掃し、一部のボランティア生徒も手伝い  
年度初めは教員と生徒で実施、稼働中プール内は教員で実施、プールサイドは教員と生徒で実施

#### 【高】

プール内、プールサイドともに、教員と生徒で実施  
プール内は教員のみ、プールサイドは教員と生徒  
既に水を抜いており、別の利用方法を検討中

#### 【中等】

教員と水泳部員  
教員と生徒で実施

#### 【特支】

生徒も参加している  
すべて児童生徒と教員  
プール内、プールサイドともに、教員と児童生徒で実施  
プール内、プールサイドともに、教員と大学生で実施  
プール内外とも教員と高等部生徒で行っている。  
教員と学生で実施  
今年度から未使用  
自校のプールは壊れている。防災用に水をためているのみ  
授業として教員と生徒で実施  
職員作業と学生のボランティア、用務員の協力。  
大学内の業務支援室(障がい者雇用)の業務支援員が教員の指示のもとで実施  
老朽化により自校プールの現在の使用なし現在の使用なし

#### 【義務】

プール内、プールサイドともに、教員と児童で実施  
教員と水泳部  
教員と水泳部員  
教員と生徒  
児童生徒と教員で行っている。

1-4. プールの維持、管理、水泳の授業について課題はありますか。

#### 【幼稚園】

経年劣化による傷みあり。維持管理や予算確保の難しさ。指導の際の人的体制の確保。

WBGTが高くプール遊びができる回数が減少した。

ビニールプールの準備・片付けに時間、手間、スペースがかかる

プールというか、水遊び場について回答しています。水道代がかさむ。安全の確保。

プールの周りに木々が多いため落ち葉などの清掃が大変である

ろ過機が老朽化で動かないため、一回ごとに水を抜き、隔日でプール遊びを行っている。

維持の経費

温度上昇に伴う水質の維持

簡易プールの老朽化、水遊びはどのような形で行うのがいいのか検討中

気温・水温が高くて実施できない日が増えてきている。水温を下げるために水を加えていくと、ものすごく水道代がかかる。

教員の負担が大きい

見学する園児を暑さ対策のためプールサイドに連れて行くことができない場合、対象園児を見守る人員が確保できにくい。

高温のため、入る機会が少なくなっている。

酷暑のため、暑さ指数による指標では水遊びができない。

施設の経年劣化

実際に入水している時間は一回20分ほどであるが、幼児は着替えに時間がかかるため、活動以外の時間を割く必要がある。また、プールには循環装置が無く、掃除は1日おき。たとえ準備しても水温が低かったり雨天で入水できないこともある。

修理代、管理費がかかる

暑さが厳しいため、手で屋根用の TENT を引いて実施している。この屋根 (TENT) は、老朽化により修理が必要となっている。

暑さ対策

小学校のプールを活用しており小学校が維持管理授業との調整などを行っている。

水道代、監視員の確保

前期課程にお願いしている

特になし

熱中症対策、小規模園での監視員配置・監視員の熱中症対策、日よけ設備の取り入れ

年長児が小学校のプールをお借りしているが、小学校のプールも老朽化している。

毎日水をかえるので、費用がかさむ。そのため、プールを週2回にしている。

老朽化に伴うプール維持にお金がかかるため、後援会が計画的に修繕に向けた積み立てをしている。

#### 【小】

プールサイドの痛みが大きく修繕に挙げるが難しい。プールと民家が近く水泳の授業行がうるさいと苦情が来る。

プールの維持には、施設の老朽化による費用の高騰が課題です

プールの共有化

プールの老朽化

プールの老朽化。

プール施設の老朽化。設備修理費の高騰。猛暑・熱中症対策。

プール自体の劣化 水道管理の困難さ 気候変化による実施の困難さ

プール濾過器の老朽化

安全面を考慮し、全学級TTの形を取りたいが職員の数十分ではないこと

維持管理は、費用的にも物理的にも大変である。また、猛暑対策も難しい。

維持費の高騰、安全管理の問題等

維持費の高騰、水の管理や薬品濃度の管理など管理者への負担。施設の老朽化。

夏場の気温上昇と水温上昇、プールサイドの温度上昇。水質の管理。

外部委託のため、契約に係る費用が高いこと。

機械の老朽化、水質維持管理

教員や児童の声、機械音など近隣住民の方への理解を求めていること。

経費の高騰

施設b・設備の老朽化、水道代等の経費

施設が老朽化し、清掃が大変。年々熱中症予防に係るきめ細かい対策が必要となっている。

施設が老朽化している。

施設の管理

施設の老朽化

施設の老朽化。維持管理の教員負担。

施設の老朽化があり、修理等に多くの金額が必要となっている。熱中症、雷など雨天以外でも実施できない日が多い。

施設の老朽化と修理費の高騰

施設の老朽化に伴い、管理が難しい。使えなくなる時期を見込んだ今後の計画が未定。

施設管理、監視人員確保、熱中症への対応

実施場所の確保と時期（本校が学外で実施するより前に公立学校が実施していたため、時期を選べない。）

授業そのものを外部委託したい

授業の際の人員確保

修繕などの予算

暑い中での指導について、課題を感じています

暑さ対策、施設の老朽化、維持管理の手間、費用

浄化槽の老朽化、天候による中止日の増加

水の事故、熱中症等、安全の確保、水質管理における時間と経費の拡大

体育部が主な担当となっているため、負担はかけている。

熱中症対策が課題

熱中症防止。教職員の管理業務の負担

熱中症予防、教員数確保

本年度より学外のプールを使用することとしたため、本年度清掃を行っていないが、この後、プール管理をどのようにするか。

猛暑により、予定の時数の水泳学習が実施できない

猛暑等の影響で、プールサイドが熱くなり、児童が火傷をする事例も出ている。

老朽化、管理負担、猛暑

老朽化、人手不足、熱中症、安全管理

老朽化対策と熱中症対策のための日除の設置

【中】

プールの維持・管理の外部委託にかかる予算の確保

プールの管理が教員及び事務の負担になっている。

プールの内壁や塗装の剥離が激しくなりましたが、予算面のことから未対応です。循環機の故障もありました。暑さ指数や雷注意報により水泳の授業が実施できないことが複数回ありました。

プールの配管、ろ過機械など設備の老朽化と改修予算の確保の難しさ

プールの老朽化による漏水など。将来的にはプールの廃止と他施設でのプール実施に切り替えたい。

プールの老朽化に伴い、配管関係の故障が目立ち始め、維持費がかさむ

プール使用を止めたが、撤去に至っていないこと

安全管理のため2名体制が望ましいが人員が不足している。プールの日々の衛生管理に職員の負担がある。

安全指導 雷注意報の発令への対応

安全面 複数対応

井水ポンプやろ過装置が老朽化により、改修等が必要であるが、予算が掛かるため目途が立っていない。

屋根がないため天候に左右される。水温が高く、熱中症の危険がある。指導者が一人のため、事故等の対応に不安がある。複数人での体制が望ましい。

外部施設を活用したことで、施設スタッフの力も借りて安全な授業ができています。教員の負担

教員の負担は大きい

業務と予算の圧迫、施設の老朽化

施設が損壊・故障した場合、修理費用がない。大学は費用をこれ以上出さないと明確に言っている。

施設の老朽化、水道代、熱中症に対する懸念、水泳の外部委託

授業の実施も含めて、学校外に委託すべき内容であると感じている。

修繕費の予算確保に苦労している。

小学校と共用の為、小学校と中学校の使用時間が重なることが多い。

水泳の授業においては、更衣スペースが狭い。日々のプールの維持管理、特に週末や週初めの対応。

水泳不参加者の熱中症予防のための見学場所の確保

水質管理と経年劣化

水質管理は教員が行っており、業務上、負担感は否めない。また、WBGTとの兼ね合いにより、生徒の安全を考えると実施不可能な日が増えてきている。

水道代等の維持・管理費が大きいこと。

他の施設を利用しての水泳授業は、費用や時間調整面での課題が多いため、水泳授業が実施できない。

大学のプールを利用しているが、老朽化して維持が難しいと判断されている。

撤去したいが、現時点では予算が付いていない。

補修にかかる維持費

老朽化に伴い、プール施設の維持が困難であること。また、暑さ対策。

老朽化のため、取り壊したいが、費用がかかること。

濾過器・塩素注入器の老朽化と不具合

プールの維持費がかかりすぎるため、閉鎖を検討している

## 【高】

維持費、修理費

塩素濃度の管理が難しい

管理(費用・水質管理)の負担

施設の老朽化、熱中症や悪天候(落雷)、監視体制のための人員確保

設備の老朽化、水道料金の高騰

## 【中等】

夏の高温により水温が想定以上に早く上昇してしまい、塩素が不足気味になる。結果、藻が発生しやすくなる。屋外プールということもあり、落ち葉がたまりやすい。そもそもろ過システムが古い。プール内、プールサイドの細かなヒビや破損がある。

## 【特支】

8月の学校閉庁期間のプールの維持、及び管理・熱中症指数31以上のため水泳の学習を中止したことが多く、水泳の学習を確保できない。

wbgt値が高いときや、落雷注意報が出ているとき、高温による7月の午後の実施が難しくなっている。

コストパフォーマンスが悪い

プールの設備の老朽化。暑さのため入れない日もあり学習時間の確保が難しい。

プールは校外へ行くため、移動に時間や費用がかかったり、一般のプールを利用するため利用範囲や日程の調整が必要になること

プール施設の老朽化

ボランティアの確保

維持、管理費の増加、暑さによる授業実施が困難な場合がある。

維持管理に費用がかかる。気温が高すぎて屋外運動を中止するなど維持管理費や労力のわりに授業時間がとれない。

維持管理の費用、夏休み中のプール管理(担当分掌部が交替で管理している)

維持費が高い(点検、メンテナンス費用)、暑さにより午後からの実施は不可能。

監視者の数

管理費負担が困難になってきている

現在、使用不可の状態になっており、今後の管理が課題である。

現在修理費用が出せないため地域のスポーツクラブで授業を行っている。維持管理費が必要なく指導員も2名程度参加し指導してもらっているため大きな不満はないが、移動によるあわただしさは特に小学部は危険がある

市営プール使用が可能か実施実施2ヶ月前にならないと分からないこと及び移動手段確保、自校プールの修繕及び維持管理費の捻出、

施設が老朽化しているが、修繕の費用が賄えない。プール管理について体育科教員の負担が大きい。雷や熱中症の危険性があり、授業できない日が増えてきている。

暑さ対策が難しい

小学部のみです。中学部、高等部は入れる大きさのプールではありません。

水漏れが発生し、シリコン充填で対応している。暑さがひどいため、プールサイドで指導する教員の熱中症対策が必須。

設備の維持、管理にコストがかかる

設備の老朽化 プール維持費 熱中症指数が高く、水泳活動を中止せざるを得ないこと

設備の老朽化、一部教員への負担増、高温による実施不可

老朽化が顕著だが附属校園での優先順位があり、修繕の見通しが立たないため、使用するにあたって安全面や衛生面での不安がある。

老朽化しており、補修の予算がつかないため使用していない

老朽化に伴う各種更新の費用を準備するのに苦慮しているが、今年度更新が行われている。

プール設備の老朽化により、維持管理や修繕にかかるコストは増加傾向にあり、十分な予算が確保されることで、安全かつ快適な環境の維持が可能となる。一方で、予算不足が続くと適切な管理が困難になり、安全面でのリスクが高まる課題がある。

近くにプール施設はないため、自校で実施している。維持、管理のための予算が不足している。今後、安全な運営のためには資金が必要である。

**【義務】**

施設の老朽化、教員の負担軽減

水泳指導と安全管理を同時で行うために、教員を複数割り当てているが、負担となっていること。

熱中症指数が高い時、実施が難しい場合がある。雷注意報が発生しているときの判断が難しいこと  
補習費用